

【総合基礎科目領域/外国語科目群】

科目名	ナンバリング	区分(必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
英語リーディング・ライティング	NLA11_021	選択	1	1・2	前期
担当教員	研究室	電子メールID	オフィスアワー		
風間 絢日	415	ayaka.kazama	火曜日 14:30~16:00		
授業の目的・概要	英語での発信力を身に着けることで多文化社会におけるコミュニケーション力を上げることを目指す。伝えたいことを英語で正確に伝えるために、文法や様々な表現を学習しつつ、多様なテーマで英文を書く練習を行う。				
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習) <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技 <input type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> 反転授業 <input type="checkbox"/> ディスカッション・デバート <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> その他 ()				
学習上の助言	語学力の向上には豊富なインプットが鍵となるため、積極的に英語に触れる機会を持つよう心がけること。また少しずつでもよいので毎日英語でアウトプットすることを推奨する。				
教科書	Communication Bridge/著: 小林亮哉, Ayed Hasian, 茨木正志郎, 中野陽子, Lidija Elliot/金星堂/2026				
参考書	特になし				
外部教材	特になし				
学生が達成すべき行動目標			関連卒業認定・学位授与方針		
①	英語の文の構造を正しく見分けることができる。		HSU(2)(5),NS(2)(3)		
②	平易な英文を読んで正しく理解することができる。		HSU(2)(5),NS(2)(3)		
③	自分の伝えたい内容を、英語で表現することができる。		HSU(2)(5),NS(2)(3)		
④	習得した文法を正しく用いて英文を書くことができる。		HSU(2)(5),NS(2)(3)		
⑤	習得した語彙を適切に使って英文を書くことができる。		HSU(2)(5),NS(2)(3)		
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業方法	学習課題・学習時間(時間)		
1	ガイダンスと Unit 1: 日常生活を述べる	講義	教科書 Unit 1 を予習し知らない単語等を調べておく。	1	
2	Unit 2: 理由を説明する	講義	教科書 Unit 1 の復習をし Unit 2 の予習をする。	1	
3	Unit 3: 日記を書く	講義	教科書 Unit 2 の復習をし Unit 3 の予習をする。	1	
4	Unit 4: 道案内をする	講義	教科書 Unit 3 の復習をし Unit 4 の予習をする。	1	
5	Unit 5: 描写を説明する	講義	教科書 Unit 4 の復習をし Unit 5 の予習をする。	1	
6	Unit 6: メールを書く	講義	教科書 Unit 5 の復習をし Unit 6 の予習をする。	1	
7	Unit 7: アドバイスをする	講義	教科書 Unit 6 の復習をし Unit 7 の予習をする。	1	
8	Unit 8: 目標や夢を説明する	講義	教科書 Unit 7 の復習をし Unit 8 の予習をする。	1	
9	Unit 9: 好きな場所を説明する	講義	教科書 Unit 8 の復習をし Unit 9 の予習をする。	1	
10	Unit 10: 2つのものを比べて説明する	講義	教科書 Unit 9 の復習をし Unit 10 の予習をする。	1	
11	Unit 11: 歴史的建造物を説明する	講義	教科書 Unit 10 の復習をし Unit 11 の予習をする。	1	
12	Unit 12: 自身の体験を説明する	講義	教科書 Unit 11 の復習をし Unit 12 の予習をする。	1	
13	Unit 13: 日本の文化を説明する	講義	教科書 Unit 12 の復習をし Unit 13 の予習をする。	1	
14	Unit 14: ボランティアについて説明する	講義	教科書 Unit 13 の復習をし Unit 14 の予習をする。	1	
15	Unit 15: 人や物を詳しく説明する	講義	教科書 Unit 14 の復習をし Unit 15 の予習をする。	1	
試	達成度評価・評価のポイント参照				

【総合基礎科目領域/外国語科目群】

		達成度評価					
総合評価割合(%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
総合力指標	知識・技術力	10	10	0	0	40	100
	思考・推論・創造する力	10	10	0	0	10	30
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	10	10	0	0	10	30
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	10	10
問題を発見・解決する力		0	0	0	0	0	0
評価のポイント							フィードバックの方法
評価方法	行動目標	評価の実施方法及び注意点					
試験	①	✓	学期末に筆記試験を実施し、授業で学習した内容の定着度について総合的に評価を行う。				試験の評価
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
レポート	①		授業時間内に教科書の内容にそった英作文を作成し提出する。				提出された英作文の添削および返却
	②						
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
その他	①	✓	単に出席するだけでなく、積極的に授業に臨む姿勢が求められる。授業中の態度や参加度も評価の対象となる。				授業内の教員によるコメントおよび助言
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
備 考							
他 担 当 教 員	なし						
教 員 の 実 務 経 験	カナダの大学にて学位取得、タイの大学の英語プログラムにて修士課程を修了した後、外国人患者を多く受け入れるタイの私立総合病院にて8年間勤務し、医療コーディネーション業務などを行う。日本帰国後は大学にて語学試験対策や英語学習の指導などに従事するとともに多文化共生活動や医療通訳者の育成・普及活動に携わる。						
実践的授業の内容	英語教授と海外での経験を活かし、まずは英語に親しみをおぼえ、英語で表現してみようという姿勢を身に着けることを目指した講義を実施する。						
そ の 他	授業内で英作文の提出が課され、評価の対象となるため授業への出席が重要となる。教室内でのスマートフォンやアプリの使用は禁止のため、辞書あるいは電子辞書を用意すること。日常的に英語に触れ、また実際に英語で作文してみようとすることを通じて英語力や表現力を高めることができるので、毎日英語に触れる機会を作り、授業の課題以外でも英作文をすることが望ましい。						